

視聴者注目の”瞬間”を分析！ NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の第23回「狩りと獲物」

ご家庭に人体認識技術を搭載した機器を設置し、テレビスクリーンの「視られている量」を測るTVISION INSIGHTS株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 郡谷 康士、以下TVISION）は、2022年1月にスタートした、三谷幸喜さん脚本・小栗旬さん主演の『鎌倉殿の13人』を、毎放送回、視聴者がどのシーンに注目したのかを分析しています。

6月12日に放送された第23回「狩りと獲物」は、視聴者にどのように見られていたのでしょうか？

テレビの視聴者の様子を、1分毎の「TVISION推定視聴率」と、「テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合＝注目度※」のグラフで見ってみました。

用語解説 注目度

※注目度とは？

テレビの前にいる人（滞在者）のうち、テレビ画面に視線を向けていた人（注視者）の割合を表します。シーンに注目している度合いがわかります。



テレビの前にいる人のうち、テレビ画面に視線を向けていた人の割合です。

テレビのコンテンツに、注目している度合いがわかります。

TVISION

『鎌倉殿の13人』毎分の注視データで見る、視聴者が注目したシーンとは？

第23回は、巻狩りという盛大なイベントの裏で動く、曾我兄弟の謀反の行方が描かれた回でした。

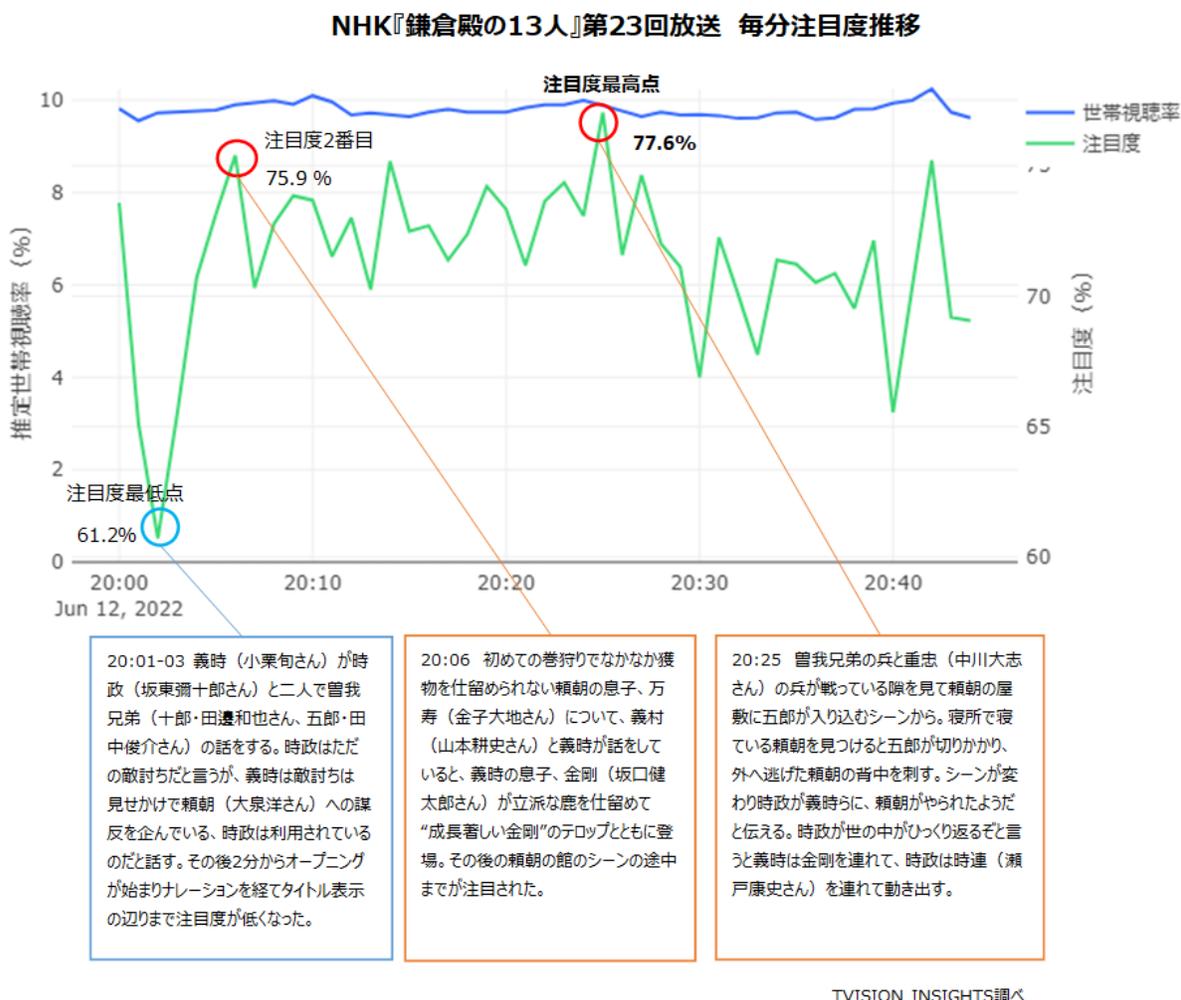
嫡男・万寿（金子大地さん）の披露目の場とするため、御家人を集めて富士の裾野で巻狩りを行うことを決めた源頼朝（大泉洋さん）。工藤祐経（坪倉由幸さん）が賞賛する中、頼朝を憎む曾我十郎（田邊和也さん）・五郎（田中俊介さん）兄弟らが謀反を計画。梶原景時（中村獅童さん）から企みを知らされた義時（小栗旬さん）は、急ぎ五郎の烏帽子親である父・北条時政（坂東彌十郎さん）のもとへと向かいます。不穏な気配が漂う巻狩りには、義時の愛息・金剛（坂口健太郎さん）も・・・というストーリーでした。

ツイッターでは、「#鎌倉殿の13人」がオンエア中から8週連続の世界1位になりました。先週に引き続き「曾我兄弟」もトレンド入りしました。また、今回初登場となった「坂口健太郎」、のちの2代将軍・源頼家となる「万寿さま」もランクインしました。

毎分での注目度と推定世帯視聴率の推移

日付：2022年6月12日（日）放送

属性：個人全体



最も注目されたのは、20時25分で、注目度は77.6%でした。曾我兄弟の兵と重忠（中川大志さん）の兵が戦っている隙を見て、頼朝の屋敷に五郎が入り込むシーンから注目が高まりました。寝所で寝ている頼朝を見つけて五郎が切りかかり、外へ逃げた頼朝の背中を刺します。そこからシーンが変わり、時政が義時らに「頼朝がやられたようだ」と伝えます。時政が「世の中がひっくり返るぞ」と言うと義時は金剛を連れて、時政は時連（瀬戸康史さん）を連れて動き出しました。頼朝と思われる人物が刺されるシーンは、大きな音の効果もあり目を惹いたと考えられます。

注目度が二番目に高かったシーンは20時6分で、注目度は75.9%でした。初めての巻狩りでなかなか獲物を仕留められない万寿について、義村（山本耕史さん）と義時が話をしていると、立派な鹿を仕留めた金剛が、“成長著しい金剛”のテロップとともに登場します。その後、頼朝の館のシーンの途中までが注目されました。ツイッターでも初登場が話題になった坂口健太郎さん登場シーンに、視線が集まりました。

注目度が低かったシーンは冒頭20時 1分から 3分にかけてでした。義時が時政と二人で曾我兄弟の話をしているシーンでした。時政はただの敵討ちだと話しますが、義時は「敵討ちは見せかけで、頼朝への謀反を企んでいる。時政は利用されているのだ」と話します。その後20時 2分からオープニングが始まり、タイトル表示あたりまで注目度が低い結果となりました。

※2021年の年間の、プライム帯（19-23時）におけるドラマジャンルの平均注目度は63%

<過去放送回の「鎌倉殿の13人」各回注目シーン分析はこちらをご覧ください>

<https://telescope.tvisioninsights.co.jp/summary-kamakura13/>

TVISIONでは、視聴者のテレビへ視線がどれだけ向けられたのか、テレビ番組では毎分、CMでは毎秒でデータを取得しております。今後も注目のテレビ番組やCMの分析を行って参ります。

<本件に関する問い合わせ先>

TVISION INSIGHTS株式会社 広報担当 佐野、峯島
東京都千代田区大手町1丁目6番1号大手町ビル6階
E-mail info@tvisioninsights.com
Tel (担当直通) 050-5468-2785

【TVISION INSIGHTS株式会社について】

TVISION INSIGHTS株式会社は人体認識技術によってテレビ番組・CMの視聴態勢データを取得し、BtoB向け視聴分析サービスを提供しています。

ご家庭のテレビに、TVISIONが独自に開発した人体認識技術を搭載した調査機器を設置し、調査参加者の視聴態勢を毎秒で自動的に取得。「誰がテレビの前において、きちんと見ているか」というTVISION独自のアテンションデータを広告主・広告会社・放送局など国内累計160社以上のクライアントにご活用いただいています。現在、国内では関東エリアの2,000世帯・関西エリア600世帯、地上波/MX/BSの全番組を計測しています。TVISIONでは「新しいデータによってメディアマーケットを圧倒的に進化させる」というミッションのもと、テレビの価値をアテンションデータによって顕在化しています。